

《めざす子ども像》  
自分の思いが言える子  
相手の気持ちがわかる子  
いろいろなことに挑戦する子

2月の生活目標：衛生に気をつけて、元気に過ごそう

授業紹介・4年生

校内研修において国語科物語文「ごんぎつね」の授業を行いました。登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わり結びつけて想像することが本時のねらいでした。授業では、タブレットを効果的に活用し、子ども同士が「なぜ、そう思ったのか、どうしてそう考えたのか」根拠を示しながら意見を述べる事ができました。主人公ごんと兵十との「心のきよりメーター」を示す場面では、一人一人がこの物語から何を感じ、登場人物をどう捉えたのかがよくわかりました。



竹田先生



毎日音読を続けることで内容の理解の深さが変わります



ごんと兵十の心のきよりメーター



タブレットを効果的に活用しています

カンカン募金贈呈式 2月9日

四万十町社会福祉協議会の方にお越しいただき、文化委員会が中心に取り組んだカンカン募金とペットボトルキャップの贈呈式を行いました。文化委員会の4年生しのさんが挨拶を述べ、6年生あかりさんとえありさん、5年生りんさんが手渡しました。募金額は、9,842円でした。牧野利恵子会長様より「一年中で一番寒い頃ですが、毎年温かい春のプレゼントをいただいています。誰かのために役に立ちたいという思いで貯めてくださったと思います。」と感謝の言葉をいただきました。



四万十町社会福祉協議会様には、日頃より総合的な学習の時間での高齢者体験や視覚聴覚障害者体験等、ご協力いただき学習を深めることができている。

募金、ペットボトルキャップ回収へのご協力に感謝申し上げます。ペットボトルキャップについては、年間通じて集めて（1階児童玄関前ホールに入れ物を構えています）いますので、これからもよろしくお願ひします。

## ビオトープ守る！環境学習 ～3年生～

総合的な学習の時間のテーマを「大好き！東又の自然(しょうが・ビオトープ)」として、3年生は2本立てで探究的な学びを行っています。2月9日(月)には四万十市トンボ自然公園の杉村館長さん、野村さんに来ていただいて環境学習を行いました。始めに、教室でトンボが減少している理由や自然を守ることの大切さを学びました。その後、ビオトープに移動し、生き物調査を行いミナミメダカやドンコ、ヒメゲンゴロウなどを見つけました。現在県下的な水不足が続いていますが、ビオトープもいつもより半分ほどの水位となっており、とても厳しい状態です。生き物も大変少ないと感じました。水不足の影響がビオトープにもきています。

2月27日(金)のお別れ遠足では、四万十市トンボ自然公園に行きます。野村さんから「世の中にはいっぱい生き物がいる。生き物がないと困ることを知ってもらいたい。」と遠足での訪問をとても楽しみにしてくださっています。



## 学校林 遊具の修繕～きれいになったよ～ 6年生

2月9日(月)朝霧森林倶楽部の浜田さん、梶田さん、深谷さんにお習いしながら、遊具の修繕をしました。木材は、6月に皮はぎをした檜です。半割にしてくださっているものを、上から一段ずつインパクトレンチを使ってボルトで絞めていきました。木を固定した後、木材が腐らないように防虫防腐ソートを丁寧に塗り、完成しました。3月には下級生を招待して一緒に遊ぶ予定です。



## 「学校応援団」読み聞かせ、加力指導のボランティアをありがとうございました。

今年度も6月より読み聞かせ、放課後の加力指導にご協力をいただいたおかげで実施することができました。朝の読み聞かせは8:15から8:25(年間19回)、放課後の加力指導は15:50から16:15(年間16回)です。来週24日(火)が最後となります。今年度お世話になった方々をご紹介します。

「読み聞かせボランティア」谷脇八代美さん、中越恵美さん、榎本秀樹さん、梶田隆則さん、長山速子さん、島岡直子さん、中山茂夫さん、渡邊恵子さん(8名)「加力指導(丸付け)」國元豊美さん、竹内勲さん、田市芳美さん、石崎豊史さん、野中國世さん、東司さん、佐々木香代さん(7名)